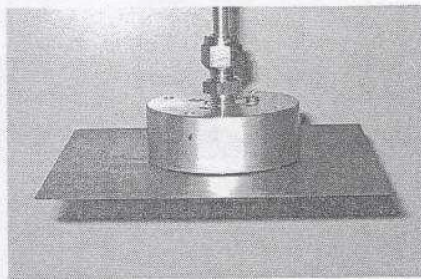


日本経済新聞

6月30日
火曜日

発行所 日本経済新聞社
東京本社 電話(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 電話(06)6943-7111
名古屋支社 電話(052)243-3311
西部支社 電話(092)473-3300
札幌支社 電話(011)281-3211
NIKKEI NET アドレス
http://www.nikkei.co.jp/
購読のお申し込み
電話0120-21-4946
http://www.nikkei4946.com

太陽電池基板の搬送



部品中空に小さな竜巻を
起こすことで太陽電池基
板に触らずに吸い付ける

半導体製造装置部品のハーモテック(山梨県南アルプス市、岩坂斉社長)は、太陽電池の製造ラインで薄い基板を傷つけずに運ぶための部品を開発した。8月に発売する。太陽電池基板は薄型化が進み、搬送時の破損が問題になりつつある。こうした問題にいち早く対応することで、拡大が予想される太陽電池製造設備向け受注を増やす。

圧縮空気使い傷つけず

ハーモテックが新部品

簡素化で価格6分の1

同社の「KUMADE CUP」は、直径6mmの円柱に空洞がある白のアルミ製部品だ。裏側の管から圧縮空気を送り込み、空洞に小さな竜巻を起こして中心の気圧を下げ、太陽電池基板を上から吸引して持ち上げる。気圧の吸引力と圧縮空気の押し出す力がバランスをとるので基板に部品が接触せず、傷つけないのが特長だ。1個の価格は6万円前後と横から引き抜くフォーク状の従来製品の6分の1に引き下げる。半導体製造ラインと異なり、

太陽電池製造ラインは小型化する必要がないため仕組みを簡素化した。空経費を抑制するため、基本構造を見直した。空気清浄が必要な圧縮空気の使用量は15リットルを持ち上げるのに千円と従来製

品の半分に減らした。半導体基板に続き太陽電池基板も単結晶からより多くの枚数を切り出す薄型化が進行中。厚さ200ミリの100万分の1以下タイプが主流になれば、半導体基

板と同様に搬送時の破損が課題に浮上するとみられる。太陽電池製造装置メーカーに早く売り込む。最低6個からセットで販売する。初年度の売り上げ目標は5000万円。ハーモテックの08年

7月期の売上高は2億2000万円だが、半導体製造装置需要の減退で09年7月期は減収が避けられない見通しだ。太陽電池製造装置市場に食い込み、業績の回復を目指す。